

お知らせ <ボランティア募集>

下記活動のボランティアを募集しています。興味のある方のご参加をお待ちしています。

かもめ教室（こども学習支援）

地域の小・中学校にかよう外国につながる子どもたちに日本語の学習、学校の宿題などをサポートしています。特に資格はいりません。子どもが好きな方のご参加をお待ちしています。

交流イベント活動

外国人との交流イベントの企画、当日の準備、手伝いをします。2024年度は「にほんのあそび」、「みかんがり」と「エジプトの日」を行いました。

フリーダムサロン（ともだちひろば）

月2回、第1・3土曜日 16:30～18:30 に開催。活動場所：いきいきセンター金沢2階
外国人、日本人と一緒に、日本のこと、母国のことを話題にして「にほんご」で話し交流します。

金沢ラウンジフェスティバル

地域の方へラウンジを紹介し、身近に多文化が感じられるイベントをみんなで考え企画し、準備します。
2025年11月30日（日）フェスティバル開催予定

ボランティアの申し込み方法：電話、メール、窓口への来館
・TEL 045-786-0531/0534 ・FAX 045-786-0532 ・E-mail klounge@shore.ocn.ne.jp



編集後記 ラウンジニュース第1号から記事、編集に関わっています。外国人に読んでもらいたい、みんなに手にしてもらいたいことを大事にしています。外国人にも日本人にもわかりやすい「やさしい日本語」は常に心がけています。これからも日本で暮らしていく上で役に立ち、おもしろい内容にしていきたいと思っています。編集に興味のある方はどうぞ広報企画グループにご参加をお待ちしています。（K.Y）

★ラウンジ窓口のご案内★
《開館時間》月・火・水・木・金・土 9:00～17:00
日、祝日、年末年始は休館
〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1
金沢区役所 2 階

☎045-786-0531・786-0534 Fax 045-786-0532

➤多言語で相談に応じます。
・月曜日～土曜日9:00～17:00 英語
Monday thru Saturday 9:00-17:00 English available
・木曜日 13:00～17:00 スペイン語
Los jueves por la tarde 13:00-17:00 en Español
・水曜日 9:00～13:00 中国語
星期三 9:00～13:00 中文
➤〔日本語教室〕
場所：横浜国立大学 八景キャンパス 国際交流室
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00～11:30
➤〔かもめ教室〕
火曜日 16:00～18:10 ビアレコハマ新館 3階 会議室
木曜日 16:15～18:25 特養わかさ 地域交流室
金曜日 14:30～16:30 並木北コミュニティハウス
土曜日 9:10～12:30 ルンビニー -つながりの庭-



KANAZAWA INTERNATIONAL LOUNGE

金沢国際交流ラウンジニュース

No.71

2025年(令和7年)5月20日
発行

発行 金沢国際交流ラウンジ

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1 金沢区役所 2 階

TEL 045-786-0531/0534 FAX 045-786-0532

E-mail klounge@shore.ocn.ne.jp



ちいき れんけい きょうしつ
地域との連携 ～かもめ教室～



外国につながる子どもたちのために地域の4か所で学習支援教室を開いています。週4回、並木地区、文庫八景地区で地域の施設を借りて利用しています。子どもたちにとって家から近い教室がいちばんで、学校が終わって歩いてくるか、自転車です。土曜は文庫地区で開いていますが、ふだん参加できない子も来ています。施設を定期的に借りることができ、それぞれ利用の方法は違いますが、地域の皆様にもかもめ教室を知ってもらいよい機会になっています。

とくべつよう ごろうじん 特別養護老人ホーム わかくさ 木曜教室

木曜教室が2024年4月にわかさ地域交流室に移り1年が過ぎました。ここは「わかさ」にとってもまさに地域の方のために開放している部屋です。明るくて、何もかもが新しい、広い部屋に皆大喜びをしました。新たにやりたいスポーツや子どもたちに場所もわかりやすく安心です。施設の皆様には本当にあったかく部屋を提供していただき感謝しています。交流室前にテーブルがあり、親を交えた最初の相談や、ふだんの相談に使うなど助かっています。子どもの送り迎え時に玄関にいる施設の皆さまと話すなど小さな交流もできています。今後は、利用者の皆さんと交流できることを施設の皆さんと模索していきたいと考えています。



いりぐち てづく あんないばん
入口には手作りの案内版



ひろ あか こうりゅうしつ
広く明るい交流室

ビアレコハマ新館 火曜教室



なみき かようきょうしつ
並木イオンの中で行きやすい。
7月20日からスポーツセンター

並木北コミュニティハウス 金曜教室



なみきだいいちしょうがっこうない しせつ
並木第一小学校内の施設
学校が終わったらそのまま直行

ルンビニー -つながりの庭- 土曜教室



もとようちえん へや
元幼稚園の部屋で、
こいずみ じゅうたくち
小泉の住宅地にある。

金沢国際交流ラウンジは、金沢区役所の委託を受けて NPO法人横浜金沢国際交流の会が運営しています。

ラウンジの活動報告

かもめ教室 <みんなで発表会>

3月8日（土）、第10回かもめ教室「みんなで発表会」を金沢公会堂多目的室で行いました。かもめ教室の生徒たちは、教科書や作文の音読をしたり、楽しいクイズをしたりしました。好きなスポーツや生き物など、調べたことの発表や、得意な歌や楽器の演奏もしました。練習は、教室のサポーターといっしょにしました。

みんなの前で話すのはドキドキです。でも、発表を終えた子どもたちは笑顔でキラキラとかがやいていました。見ている方もうれしくなり、また、子どもたちの成長を感じることができる瞬間です。

午前と午後を合わせて、162人が参加しました。お知らせのチラシの絵や、発表会の司会は子どもたちが担当しました。たくさんの家族や学校の先生に温かく見守られ、みんなで作り上げた発表会になりました。



少しきんちょうします

<高校受験にむけて>



受験勉強はグループで

かもめ教室では高校受験のサポートをしました。中学3年生4人に加え、海外で中学校課程を終えた3人の生徒もいました。木曜教室では高校を選ぶところから受験生グループで話し、一緒に面接文を考え、聞きあい励まし合ってきました。同じ目的をもっていたので安心して受験当日まで準備ができました。合格発表の日「通ったよ」とうれしい声を聞きサポーターみんなが喜びました。これからはサポーターとして手伝ってくれるのを楽しみにしています。

日本語教室 <スピーチ発表会>

日本語教室では毎年3月に「スピーチ発表会」を開きます。学習者が自分で発表したいテーマを選び、これまで勉強してきた日本語力を使って、発表する文を考え、原稿を書き、みんなの前で発表すること、教室のみんなで楽しい交流の時間を持つことが目的です。2月になると準備が始めます。学習者と支援者が力をあわせて、話す内容や説明資料を用意し、練習をして発表会の日を迎えます。

今年は3月1日（土）、13日（木）、16日（日）、18日（火）に教室ごとにスピーチ発表会を開きました。そのひとつ火曜教室では、学習者が8名、支援者が9名とほぼ全員が参加しました。はじめに参加者全員が司会者の簡単な質問に答え、リラックスして始まりました。学習者は「さくらの写真の撮り方」「わたしの趣味」「趣味の花々」「わたしのふるさと」「トムヤンクンの作り方」「栄養のバランス」「日本でびっくりしたこと」「ノアの箱舟（絵本）紹介」について発表しました。みんな緊張はしましたが、わかりやすくしっかり、元気に発表できました。支援者も参加しました。歌をうたったり、フルートの演奏、詩の朗読、手話の紹介、日本語と中国語の漢字クイズなど

いろいろなことを発表しました。

最後に全員でよこはま金沢音頭を踊りました。

みんなが上手に発表できた満足感と楽しい時間をいっしょに過ごせた笑顔があふれた2時間でした。



私の発表



火曜教室の皆さん

かつどうほうこく

多文化共生講演会 「守られるべき人権」

1月13日に川崎市多文化活動連絡会の中村ノーマン先生（カナダ出身）の講演会を金沢公会堂の多目的室で行いました。講演会のテーマは「外国人の守られるべき人権とは」で、参加者は23名でした。お話は主に外国人の「在留資格」制度の内容でした。日々外国人が日本に住むためにどういうことが問題になるか、その中で人権を考え対応するにはわたしたちは何を知らなければならないかを学びました。

その後、少人数に分かれて意見交換をしました。在留資格制度の裏には守らなければならない人権があり、日本人も理解し、お互い地域で助け合うことが必要で何ができるかなどそれぞれの立場で考えました。

ラウンジ窓口には様々な外国人の方が相談に来られます。相談内容には「在留資格」に関連したものもありますので、今回得た知識をもとに相談に応じたいと思います。また必要に応じて専門的な機関（入管事務所、行政書士、弁護士など）につなげることも大切だと思います。今後も外国人の方々に寄り添った業務を行います。

<アンケートから>

- 基本的なことを改めて知った。「多文化共生とは何か」「平等≠公平」「子どもの在留資格」など。
- 子どもの在留資格の重要性、多様性を認める社会を作ること、生涯学習の重要性が学べた。
- さまざまな在日外国人の日本語力がアップすることを手助けしたい。



何ができるか、考えた

多文化理解講座 エジプトの日 ～わたしは砂漠人です～

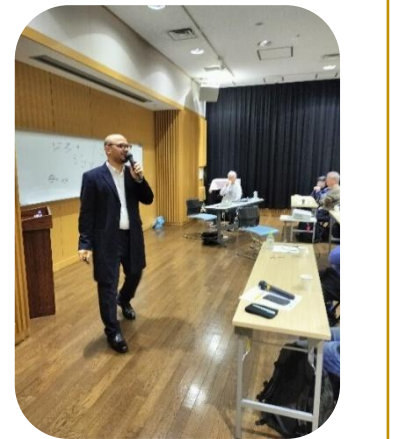
エジプトといえば、ピラミッド、スフィンクスや砂漠というイメージがすぐに思い浮かびますが、文化、食べ物、ことばについては知っていますか？

そこで、3月2日（土）地域に住むハレットさんに話してもらいました。ほぼ2か月にわたり、講師とメンバーとで内容の相談を行い、アラビア文字の書き方も実演できるようになどの提案により内容に入れました。当日は、幅広い層の参加者が集まり、総勢36人が講師の話に聞き入りました。

講座は日本語で行われ、プレゼンテーションは、講師の人柄がにじみ出た講座でした。

「わたしは砂漠人です」で始まり、途中講師が日本語に詰まると参加者が助け舟を出すなど、和やかな会になりました。内容は、歴史、気候、服装、食べ物、ことば、それぞれを詳しく説明してくれ、参加者全員が熱心に聞き入っていました。最後の質疑応答時間では、エジプト人が好んで飲むという甘い紅茶を飲みながらの会となり、終了しました。

エジプトに興味のある小学生や、旅行に行きたい方など目的をもって参加してくださった方もいました。アンケートから違う国のことを知りたいと、国名があがったので今後につなげたいと思います。地域に暮らす外国人が日本人の前で話したことは、講師も自信が持てうれしかったと話していました。



リラックスムードで